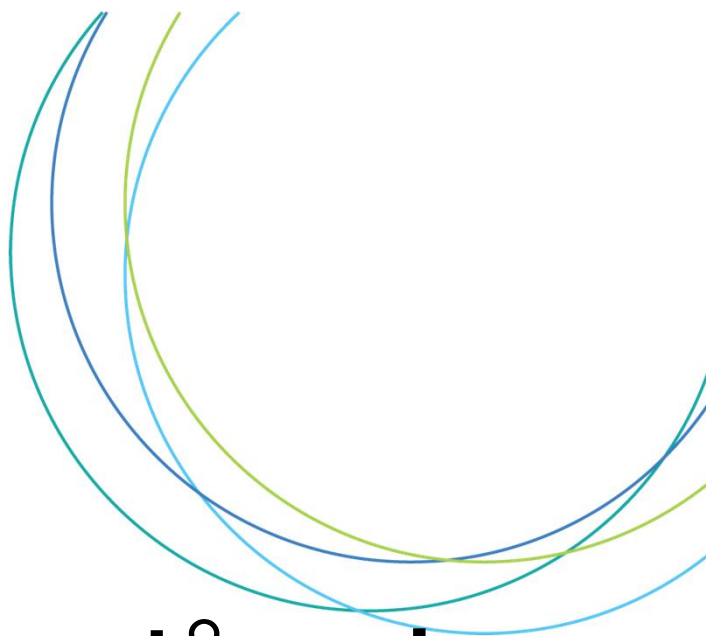




エコアクション21[®]
認証番号 0013799



環境経営レポート

対象期間：2024年4月1日～2025年3月31日

2025年9月19日

株式会社 KANSOテクノス



目 次

1. 経営理念	1 頁
2. 環境経営方針	1 頁
3. 組織概要	2 頁
4. 事業概要	3 頁
5. 実施体制	4 頁
6. 役割・責任・権限	4 頁
7. 目標と実績及び評価（総括）	5 頁
8. 環境経営計画における目標と実績及び評価	6 頁
9. 環境関連法規等の順守状況	13 頁
10. 代表者による全体評価と結果の見直し・指示及び次年度の取組	13 頁

1. 経営理念

○使命

豊かな地域社会の実現とかけがえのない地球環境の保全に貢献しつづけます。

○行動指針

1. すべての企業活動で、安全を最優先とし、お客さまの満足と信頼の確保を目指します。
2. 独自の技術開発を推進し、総合的な技術力を背景とした付加価値の高い商品・サービスを提供します。
3. 絶えず自己変革に努め、豊かな人間性を育みながら、自らの夢に挑戦します。
4. 法令の遵守はもとより、高い倫理観を持ち、公正・誠実に行動します。

2. 環境経営方針

私たち株式会社KANSOテクノスは、『豊かな地域社会の実現とかけがえのない地球環境の保全に貢献しつづけます』の経営理念のもと、より良い環境の実現と持続可能な社会に資する事業活動を推進します。

1. 事業活動全般にわたり環境関連法令等を遵守します。
2. 以下の環境に配慮した事業活動を行います。
 - ①省エネルギー活動による二酸化炭素排出量の削減および節水による水使用量の低減
 - ②廃棄物排出量の低減および再資源化率の向上
 - ③化学物質の適正管理
3. 小水力発電の開発による二酸化炭素の排出削減に貢献します。
4. お客さまの都市開発および電源開発に係る環境アセスメント、ならびに原子力・水力発電所の維持管理をはじめ土木・建築の工事・保守点検を通じ、環境保全に貢献します。
5. 環境課題の解決に資する技術開発を推進します。
6. 環境保全に関する国内外動向、政策、技術開発等の最新情報を入手し、社員に周知・教育を行い、知識・意識の向上を図ります。
7. 地域の環境保全や普及活動へ積極的に参加します。

2022年5月24日制定

2024年8月21日改定

代表取締役社長 岡田 達志

3. 組織概要

事業者名

株式会社KANSOテクノス

代表者名

代表取締役社長 岡田 達志

法人設立

1974年1月17日

資本金

1億円

事業規模

単位：百万円

	2022年度	2023年度	2024年度
売上高	17,850	20,921	23,192

事業範囲（認証登録範囲）

- 1.環境に関する調査・研究
- 2.環境測定・環境分析
- 3.土木・建築に係る計画・施工、
設備メンテナンス
- 4.小水力発電の建設・運用管理
- 5.水産物の販売、魚介類の養殖

環境管理責任者

環境管理総括責任者

品質監査室

品質監査室長

藤川 敬

環境管理事務局

品質監査室

品質管理グループチーフマネジャー

岡本 博仁

事業所（認証登録範囲）

2025年3月31日 現在

事業所	従業員数	延床面積 (㎡)	所在地
本店	276	3,998	大阪府大阪市中央区安土町1-3-5
品質監査室			
経営管理本部			
安全推進部			
企画部			
総務部			
環境事業部			
水力事業部			
土木事業部			
建築事業部			
計測分析所	31	5,601	大阪府交野市東倉治3-1-1
若狭統括支店		663	福井県大飯郡おおい町成和字2-1-123
美浜分室		199	福井県三方郡美浜町郷市14-1-7 (KGビル)
美浜営業所 ²⁾	73	114	福井県三方郡美浜町丹生66号川坂山 関西電力(株)美浜発電所内
高浜営業所 ²⁾		142	福井県大飯郡高浜町田ノ浦 関西電力(株)高浜発電所内
大飯営業所 ²⁾		142	福井県大飯郡おおい町大島 関西電力(株)大飯発電所内
富山統括支店		291	富山県富山市弥生町1-5-1
宇奈月支店	48	1,351	富山県黒部市宇奈月町下立301
庄川支店		285	富山県砺波市庄川町金屋3703-1
神通川支店		826	富山県富山市笹津西平割1-28
名古屋統括支店		145	愛知県名古屋市中区泉2-27-14
上松支店	35	2,214	長野県木曽郡上松町大字小川字島3118
今渡支店		1,542	岐阜県可児市川合2793-26
東京支店	26	305	東京都千代田区神田東松下町14 東信神田ビル4階
福島事業所		131	福島県福島市松浪町2-5
京滋支店	14	301	京都府宇治市宇治里尻78-5
滋賀事業所		617	滋賀県大津市唐橋町19-22
奈良支店	5	151	奈良県橿原市新賀町201-2
和歌山支店	5	156	和歌山県田辺市高雄3-22-19
和歌山オフィス		46	和歌山県和歌山市十番丁12(十番ビル2F)
姫路支店	10	338	兵庫県姫路市飾磨区下野田2-525-4
朝来オフィス		65	兵庫県朝来市立野字大谷689-5

- 1) 環境事業部アグリ事業Gが管理している河南農場については、2027年までに対象範囲に含める予定です。
- 2) 若狭統括支店の営業所（3カ所）については、各原子力発電所の工事会社共同施設内にあり、当該発電所の管理基準に則った運営が行われていること、また構内規定により外部からの立入に制限があることから従業員のみを対象としました。

4. 事業概要

豊かな地域社会の実現とかけがえのない地球環境保全に向けて、環境・土木・水力・建築のあらゆるフィールドで社会基盤を支え続けます。

環境分野

山、川、海、都市のあらゆるフィールドで、環境に配慮した事業を総合的にサポートします。



海洋調査



環境測定分析



魚類調査



大気観測調査

土木技術・水力分野

老朽化したインフラ設備の劣化診断や改修までの維持管理、地盤調査、物理探査等、多様な特化技術による劣化診断で構造物の設計、維持管理をサポートします。

また、電力産業で培った専門的な知見と特化技術で小水力発電所の建設、水力発電所の保全、運用管理をサポートします。



FDEMによるトンネル切羽前方探査



駅ビル緑水歩廊



小水力発電所の建設



洪水吐ゲート点検

建築分野

建物の新築工事から、建物、煙突等の最適な状態を維持するためにファシリティマネジメントを推奨し総合的にサポートします。

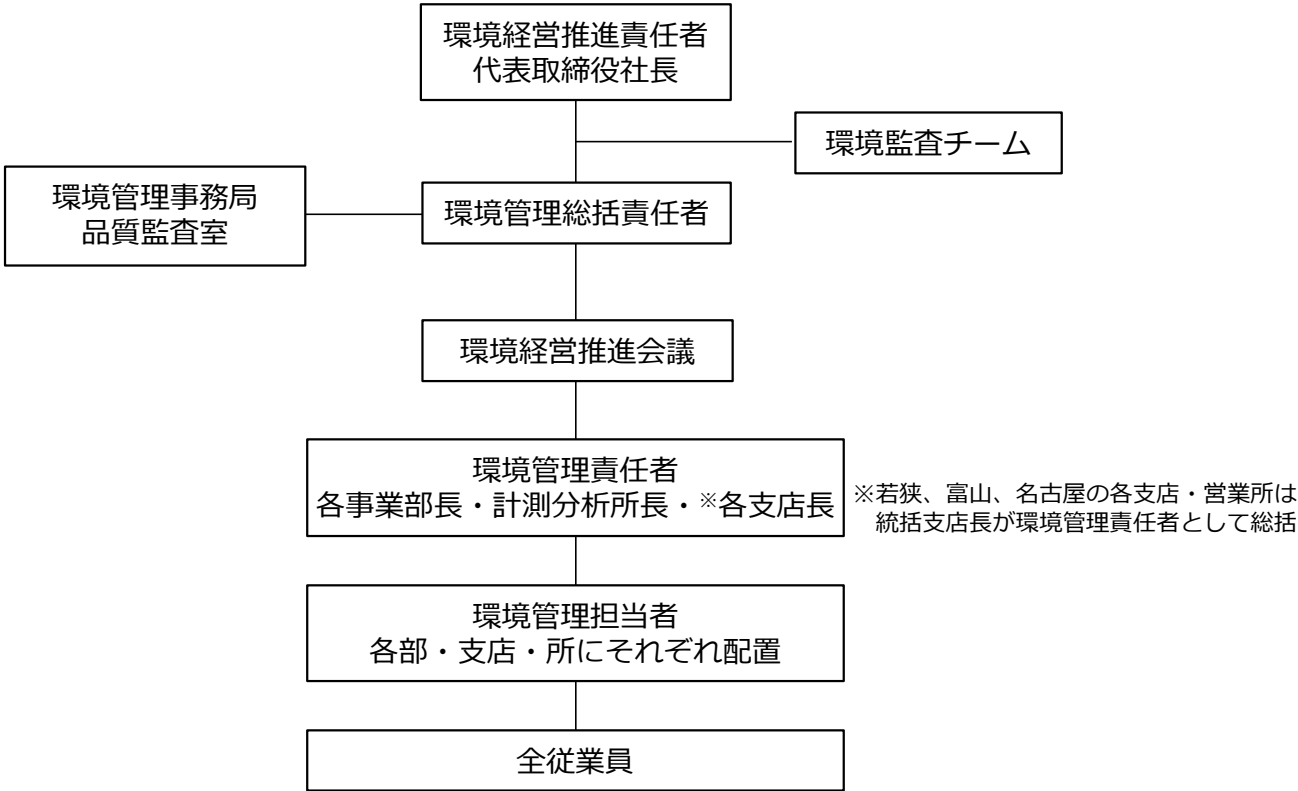


煙突の外部点検



煙突の内部点検

5. 実施体制



6. 役割・責任・権限

環境経営推進責任者	- 環境経営システムが有効であることの説明責任を負う。 - 環境管理総括責任者を任命する。	環境経営推進会議	- 環境経営推進責任者、環境管理総括責任者、環境管理責任者により構成する。 - 本会議では、環境経営計画、活動結果等の環境経営に係る事項について審議を行う。
環境監査チーム	- 内部環境監査を実施する。 - 環境経営システムに関する、問題の明確化と記録、解決策の実施報告又は、提供、解決策の検証	環境管理責任者	- 各部所の長が務め管理する。 - 各部所の「環境経営計画書」の策定、活動状況の把握及び所属従業員へ環境に関する教育・指導を実施する。 「環境経営計画書」の管理及び環境経営システムの運営状況を把握する。
環境管理総括責任者	- 環境経営システムの構築及び見直し並びに環境経営活動に関する基本的事項の企画、立案を行う。 - 環境管理総括責任者の下に環境管理事務局を設置する。 - 環境管理事務局の業務を総括する。	環境管理担当者	環境管理責任者の活動を補佐する。
環境管理事務局	- 各部所の環境管理活動状況の把握と環境管理活動に関する連絡・調整・指導を行う。 - 環境経営推進会議を設置・運営する。	全従業員	環境経営方針を理解し、環境への取り組みの重要性を自覚し、各自の役割を実施する。

7. 目標と実績及び評価（総括）

電力使用量、ガソリン使用量、軽油使用量およびこれらのエネルギーの使用に伴う二酸化炭素排出量、水使用量、リサイクルペーパー使用量、産業廃棄物排出量、化学物質使用量については、前年度実績に対して1%削減を目標値として設定し、諸活動を行いました。

ガソリン使用量、軽油使用量、水使用量、リサイクルペーパー使用量、化学物質使用量については目標を達成しましたが、電力使用量および二酸化炭素排出量については目標の達成には至りませんでした。

これらの項目については、電力使用量の適正管理を行い省エネを進め目標達成を目指します。

産業廃棄物排出量については、受注する工事の内容等により排出量が変動するため、産業廃棄物の再資源化率（対前年度比+1%以上）を目標値として設定し、2024年度は目標を達成しました。

弊社で建設、運用を行っている再生可能エネルギーである小水力発電では、4,285,938 kWhを発電、供給をしました。

2024年度目標と実績（全社）

項 目	2023年度実績 【基準年度】	改善 目標	目標値	実績	達成状況		次年度改善目標	達成手段
			2024年度 4-3月	2024年度 4-3月	対前年値	評価	2024年度実績 より-1%削減目標	
二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)	1,027,628	-1%	1,017,351	1,080,074	+5.1%	×	1,069,273	電力使用量による二酸化炭素排出量係数変更による（注）
電力使用量 (kWh)	1,771,292	-1%	1,753,579	1,790,253	+1.1%	×	1,772,351	節電の励行、不使用の居室の消灯、空調の適切使用等
ガソリン (L)	142,804	-1%	141,376	134,401	-5.9%	○	133,057	公共交通機関の活用、エコドライブの徹底等
軽 油 (L)	21,362	-1%	21,148	19,524	-8.6%	○	19,329	公共交通機関の活用、エコドライブの徹底等
燃費評価	(Km/L)			(Km/L)			燃費目標値	
ガソリン車 走行距離	1,679,671		—	1,584,205			-	受注業務内容による走行距離、給油量の変動の為 2024年度より燃費を算出 燃費目標は 前年度燃費実績の1%UP
燃費	11.76	+1%	11.88	11.79	+0.2%	×	11.91	
ディーゼル車（軽油） 走行距離	230,183		—	222,645				
燃費	10.78	+1%	10.88	11.40	+5.8%	○	11.52	
水使用量 (m ³)	8,083	-1%	8,002	7,322	-9.4%	○	7,249	節水の励行等
グリーン購入推進								
リサイクルペーパー 使用量 (kg)	30,979	-1%	30,669	16,606	-46.4%	○	16,440	電子化、Web活用によるペーパーレス化の推進等
一般廃棄物排出量	—	-1%	—	24,736	—	—	24,489	2024年度より、事務室における焼却ゴミ量の計測を開始しました。
産業廃棄物排出量 (t) ※1	9,219	—	—	3,958	-57.1%	—	—	受注業務内容による搬出量の変動
再生利用量 (t)	4,618	—	—	2,095	-54.6%	—	—	
再生利用率 (%)	50.1%	+1%	51.1%	52.9%	+2.8%	○	—	
化学物質使用量 (kg)	469.28	-1%	464.59	383.13	-18.4%	○	379.30	適正量使用の推進等
小水力発電による再生可能エネルギー発電・供給								
小水力発電量 (kWh)	3,272,896	—	—	4,285,938	—	—	—	奥伊吹発電所、奥伊吹第二発電所、上松駒ヶ岳発電所、森安発電所、大谷発電所において発電
発電による二酸化炭素削減 効果 (kg-CO ₂) ※2	1,184,788	—	—	1,718,661	—	—	—	送配電企業へ売電

※1）産業廃棄物排出量については受注する工事の内容により排出量が大きく変動するため、前年度の再利用率+1%以上を目標値とした。

※2）小水力発電による二酸化炭素削減効果は、発電量に対してKANSOテクノスで使用する

電力の原単位（0.401kg-CO₂/kWh）を乗じた値により算出した。

注意）電力における二酸化炭素排出量係数は、2023年 0.362（kg-CO₂） 2024年 0.401（kg-CO₂）

ガソリン ・軽油における二酸化炭素排出量係数は、固定 ガソリン 2.32（kg-CO₂） 軽 油 2.58（kg-CO₂）

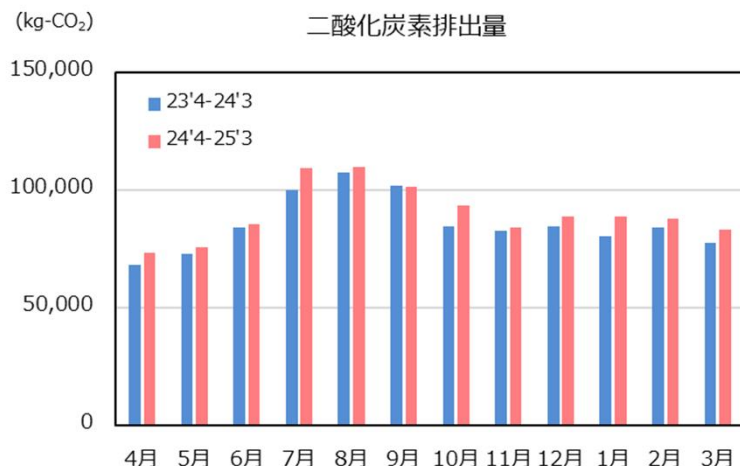
8. 環境経営計画における目標と実績及び評価

二酸化炭素排出量

二酸化炭素排出量は、前年度に対して+5.1%の増加となりました。

増加の主な理由は、今年度における電力使用量当たりのCO₂排出係数の変更や電力使用量の増加による影響です。

引き続き次年度も、電力使用量、ガソリン使用量、軽油使用量の削減に取り組めます。



年度	CO2排出量(kg-CO2)	対前年比(%)
2023	1,027,627	+5.1
2024	1,080,074	

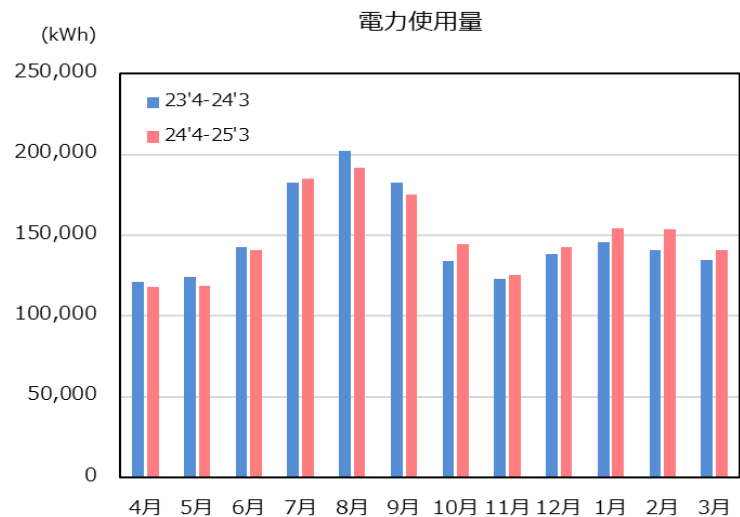
<電力使用量>

電力使用量は、前年度に対して、+1.1%の増加となりました。

例年10月中旬には冷房の使用が終了するのですが、今年度は猛暑により11月中旬まで冷房を使用、さらに12月より間を置かず暖房の使用開始となり空調機器の運転日数増加による電力使用が増えたと考えられます。

空調機器の適切な温度設定管理の実施、節電ステッカー等で、昼休みの照明の消灯、離席時にはパソコンの省エネモード（設定）などによる節電活動の慫慂に引き続き取り組みます。

今後の計画として、照明器具のLED化の推進を進めます。



年度	電力使用量(kWh)	対前年比(%)
2023	1,771,292	+1.1
2024	1,790,253	

＜ガソリン使用量＞

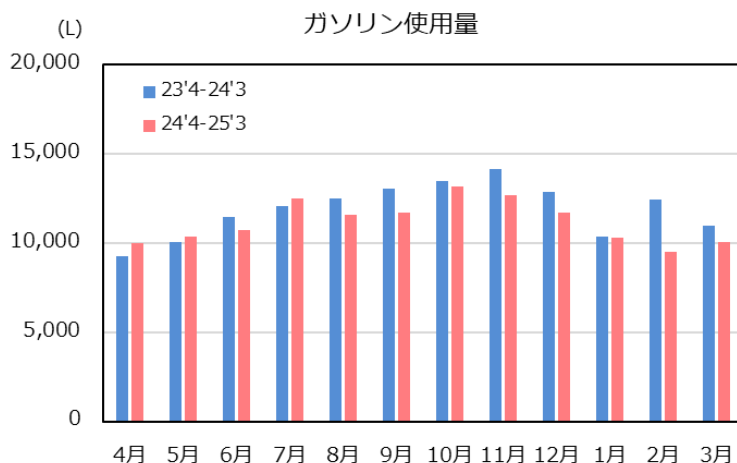
ガソリンの使用量は、対前年度比－5.9%の低減となりました。

エコドライブの定着やドライブレコーダーの機能を活用して運転者への安定走行のアナウンスを行うなど、燃費改善に取り組みました。

引き続き、ハイブリッド車、新基準エコカーの導入を推進します。

受注業務により走行距離および使用量の変動が大きい為、今年度より燃費評価を掲載。

年度	ガソリン使用量(L)	走行距離(Km)	燃費(km/L)
2023	142,804	1,679,671	11.76
2024	134,401	1,584,205	11.79



年度	ガソリン使用量(L)	対前年比(%)
2023	142,804	-5.9
2024	134,401	

社有車
ガソリン車 147台中
ハイブリット車 7台

＜軽油使用量＞

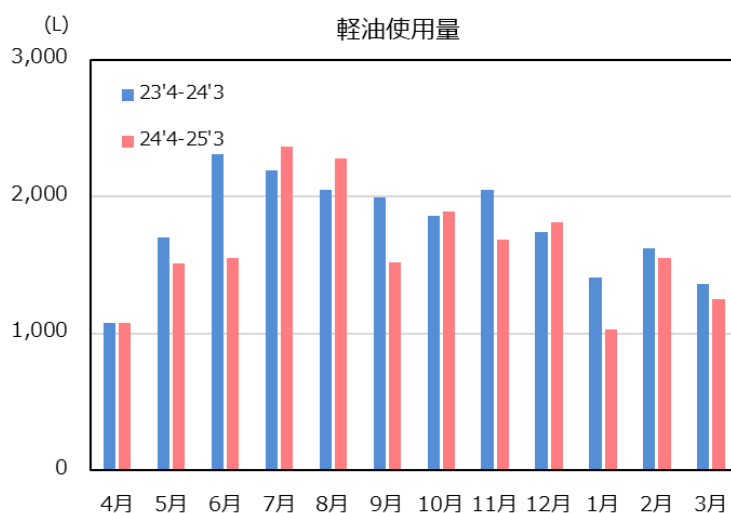
軽油の使用量は、対前年度比－8.6%の低減となりました。

これは、走行条件により燃費が伸びていることも一つと思われます。

引き続き更新時には新基準エコカーの導入、エコドライブの推進と効率的な運行計画を心掛けていきます。

受注業務により走行距離および使用量の変動が大きい為、今年度より燃費評価を掲載。

年度	軽油使用量(L)	走行距離(Km)	燃費(km/L)
2023	21,362	230,183	10.78
2024	19,524	222,645	11.40



年度	軽油使用量(L)	対前年比(%)
2023	21,362	-8.6
2024	19,524	

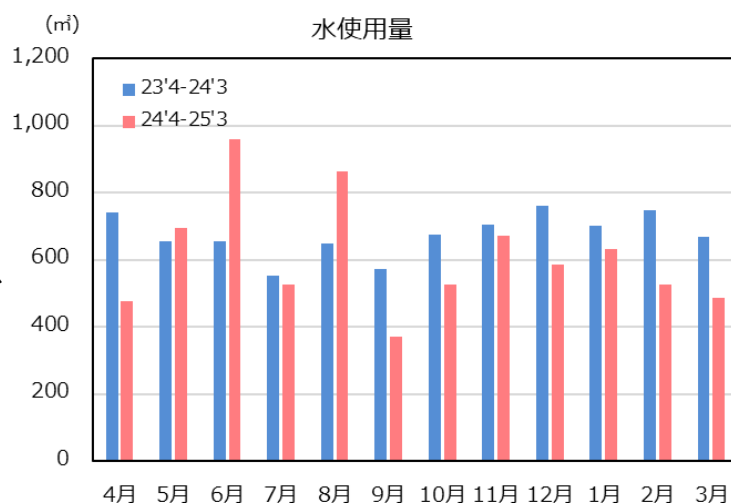
社有車
ディーゼル車 16台

水使用量

水使用量は、対前年度比－9.4%の削減となりました。

これは、業務量の減少よる器具の洗浄や社員の節水活動の結果と考えられます。

今後も器具や食器等の洗浄時は節水に努め、ステッカー等で節水の周知に取り組みます。また、センサー付き水栓の導入の検討を進めていきます。



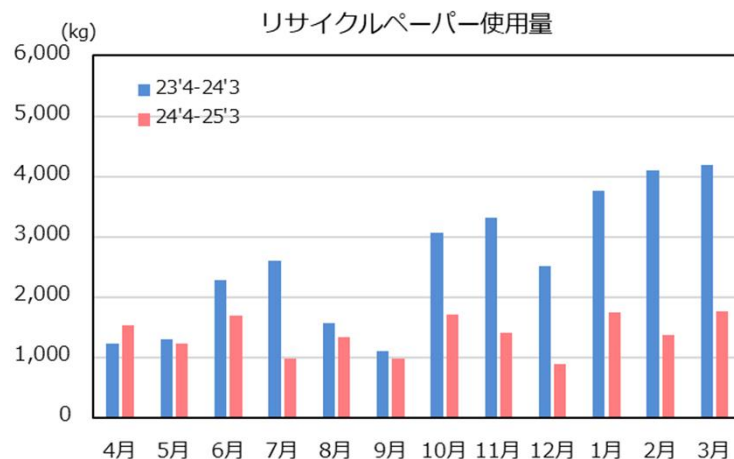
年度	水使用量(㎡)	対前年比(%)
2023	8,083	-9.4
2024	7,322	

リサイクルペーパーの使用量

リサイクルペーパーの使用量は、対前年度比-46.4%の削減となりました。

社外での業務報告会等がWeb報告に変わったこと等により使用量が減少したと考えられます。

今後は、会議資料等のデジタル化の推奨、Web会議システムの活用によるペーパーレス化を進めます。



年度	リサイクルペーパー使用量(kg)	対前年比(%)
2023	30,979	-46.4
2024	16,606	

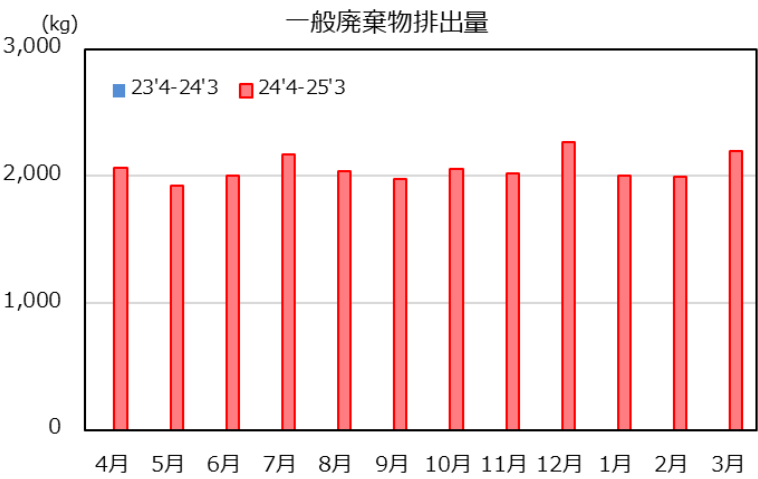
一般廃棄物排出量

今年度より、事務室における一般ごみの排出量の把握を行うことにしました。

これまで、各事業所においてごみ分別は行っていましたが、事業所ごとに搬出方法に違いがありました。

★テナントビルにおけるバックヤードBOXへの投入方法など取扱いに違いがありました。
各自事業所においてゴミ集約用のゴミBOX（袋）に投入し排出量を管理するようにしました。

★計算方法
45 L ごみ袋あたり 重量 3Kg（1 L 当たり67g）
★一般廃棄物とは
事務所などから排出される、事業系ごみであり市町村指定ゴミを指す。



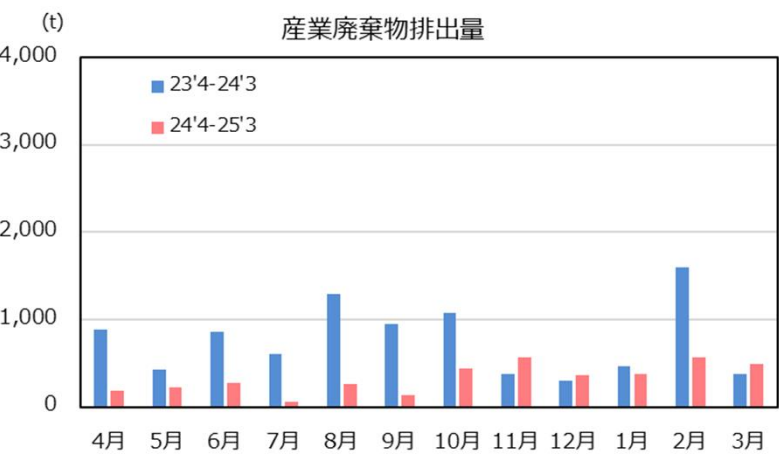
年度	一般廃棄物排出量(kg)	対前年比(%)
2023	—	2024年度より計測を実施
2024	24,736	

産業廃棄物排出量

産業廃棄物排出量については、受注する工事内容によって排出量の変動するため、産業廃棄物の再資源化率（対前年度比+ 1 %以上）を目標値として設定し、達成状況を評価しました。

産業廃棄物の再資源化率は、前年度に対して+2.8%増となり、目標の+1%を達成しました。

目標として引き続き、前年度比+ 1 %以上の再資源化率の向上に取り組めます。



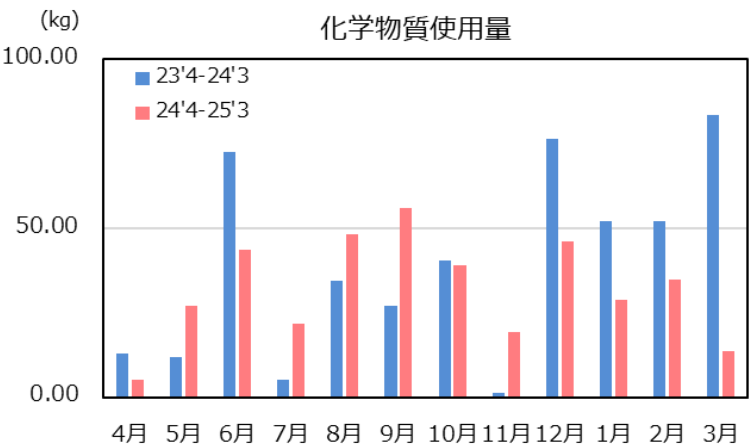
年度	産業廃棄物排出量 (t)	再利用量 (t)	再資源化率 (%)	対前年比 (%)
2023	9,219	4,618	50.1	+2.8
2024	3,958	2,095	52.9	

化学物質使用量

化学物質使用量については、対前年度比
-18.4%の削減となりました。

これは、分析業務の受注内容により試薬
使用量が減少したためです。

引き続き、対象の化学物質の適正管理に
努めます。



年度	化学物質使用量 (kg)	対前年比(%)
2023	469.28	-18.4
2024	383.13	

小水力発電による再生可能エネルギーの発電・供給

現在、5カ所の小水力発電所にて発電を行い、再生可能エネルギーとして送配電会社へ売電しており、2024年度末までの総発電量は、4,285,938 kWhでした。この発電量は、当社が供給を受けている電力会社のCO₂原単位で換算すると、1,718,661kg-CO₂相当の二酸化炭素の排出を削減したのと同等の効果に相当します。

引き続き新規地点開発に取り組むことにより、再生可能エネルギーの安定拡大と二酸化炭素の排出削減を図ります。



5ヶ所発電所 位置図

発電所名	2024年度		
	発電量 (kWh)	CO2削減効果(kg-CO2)	運用開始
森安発電所	1,515,779	607,827	2020年10月
奥伊吹発電所	486,597	195,125	2022年3月
大谷発電所	214,012	85,819	2022年12月
奥伊吹第二発電所	512,754	205,614	2023年7月
上松駒ヶ岳発電所	1,556,796	624,275	2023年9月
合 計	4,285,938	1,718,661	

※ 4 発電所の発電量は、当社出資比率の50%相当分を記載しています。
※ 上松駒ヶ岳発電所は、当社出資比率100%の発電所になります。



上松駒ヶ岳発電所

一般廃棄物排出量の削減

惣憑ステッカーを作成・配布し、一般廃棄物の3R促進による削減に取り組みました。

次年度も引き続き周知・惣憑に努め、ゴミの分別回収を推進し、廃棄物の排出量の削減に取り組みます。



KANSOテクノス独自の惣憑ステッカー

業務を通じた環境保全に貢献

再生可能エネルギー開発等に伴う環境アセスメント業務や、原子力・水力発電所維持管理業務を通じて、二酸化炭素排出を伴わない電力の安定供給に貢献しました。また、ドローン技術、環境DNA技術、公共FM※技術等を活用し業務効率化、高度化による品質の向上に努めました。

次年度も引き続き環境保全活動に取り組みます。

※FM：ファシリティマネジメント



高所点検ドローン



水質調査



公共FM調査

社会貢献活動

各事業所周辺での清掃活動や地域の皆さまとの合同活動に参加し魚類の放流などを通じて、社会貢献活動に取り組みました。次年度も引き続き社会貢献活動に取り組んでいきます。



地域清掃活動「商店街ブロンズ像清掃」



地域清掃活動「公園周辺清掃」



地域貢献活動「タナビラの放流」

9. 環境関連法規等の遵守状況

2024年度末までの事業活動を通じて、環境に関連する法令、条例を遵守し、法令違反は確認されませんでした。

主な関連法令：廃棄物処理法、建設リサイクル法、騒音規制法、振動規制法、下水道法、水質汚濁防止法、浄化槽法、フロン排出抑制法、PRTR法、労働安全衛生法、毒物及び劇物取締法、消防法、家電リサイクル法、自動車NOx・PM法、高圧ガス保安法

10. 代表者による全体評価と結果の見直し・指示及び次年度を取組

(1) 全体評価

2023年度の負荷データを基準として2024年度評価を行いました。期間は2024年4月1日から2025年3月31日までとしました。

2024年度におけるエコアクション21の環境目標として定めた8項目のうち、6項目（ガソリン使用量、軽油使用量、水使用量、リサイクルペーパー使用量、再資源化率、化学物質使用量）で目標値を達成しました。

目標値が達成出来なかった電力使用量、二酸化炭素排出量については、10月以降の気温差等による空調機器稼働増とCO₂排出係数変更によるものです。

2023年度係数 0.362kg-CO₂/kWh → 2024年度係数 0.401kg-CO₂/kWhに変更

(2) 見直し・指示

2024年度は電力使用量、二酸化炭素排出量が目標未達となりました。

電力使用量については、猛暑・寒波により空調機器の稼働率が高くなり、電力使用量が増加し、それに伴い二酸化炭素排出量も増加しました。

今後、社員一人一人の意識を高め目標達成に向け省エネ活動に取り組めます。

(3) 次年度を取組

次年度は、目標未達成となった項目のうち、電力使用量については、きめ細かな室温管理の徹底等により省エネ活動に取り組めます。節電に取り組むことにより二酸化炭素排出量削減に貢献します。

ガソリン使用量、軽油使用量については、受注業務の増減により現場への車両移動距離が変動しますが、引き続きエコドライブ等の安全運転に心掛け、適正に車両を運用管理します。

水使用量については、引き続き、節水の周知、徹底により節水活動に取り組めます。

リサイクルペーパー使用量については、社内書類のペーパーレス化の徹底を推進してまいります。

一般廃棄物量（事務系ごみ）の状況確認を行い、削減率目標を設定します。

産業廃棄物排出量については、業務の受注状況や内容等に大きく依存し、能動的な管理が難しいものの、産業廃棄物の再資源化による目標達成に取り組めます。

化学物質使用量は分析業務の受注内容により増減することから適正管理に努めます。

